

■地域の方と一緒に、学び育つ南っ子（志津南小学校）

1 【活動の趣旨】

地域の方を指導者として学習に迎え入れたり、直接地域に出かけ様々な場所や自然、人と触れ合ったりすることを通して、地域に親しみ愛着を深めることをめざす。

2 【特徴的な活動内容】

（1）「学校ボランティア活動」（全校）

昨年度より、地域の方々や保護者に呼びかけ、登録制の学校ボランティアを実施している。校内での学校行事や学習のサポート、校区内での校外学習の見守りなど、都合のつくときに気軽に参加いただくことをコンセプトとして実施している。高学年の家庭科「裁縫やミシンの扱い」、地域の公園への自然観察、学校の花壇の整備等にも御尽力いただいた。



【生活科 たのしい秋いっぱい】

（2）立命館大学との交流（全校）

「立命館大学BKC地域連携課」に御協力いただき、小学校にて1年生から6年生まで学年毎に、ダンスや紙飛行機製作、天体学習、ダブルダッチ、バスケットボール、レクリエーション運動などの体験を大学生の方々とさせていた

3 【実施に当たっての工夫】

学校ボランティアの継続と、どの活動にも参加していただけるようにするために、気軽に参加いただける雰囲気作りと、募集にあたっては特技を生かせる活動内容を常に意識するように心がけている。また、地域コーディネーターを窓口に、地域の学校ボランティアの方々に活動案内のプリントを配布し、参加希望者を募った。また、保護者のボランティアの方々には、児童を通じて活動内容を知らせた。民生児童委員の方々の参加もあり、代表者を通じて活動内容を知らせた。

4 【事業の成果】

学校ボランティアの協力によって、児童の学習活動が充実したり、安全に実施できる手助けになったりと成果が大きかった。

立命館大学との交流については、学年のニーズに合った内容で、年齢が近い学生に教えていただいたり、触れ合ったりできたことは、児童が人や物事に興味を持つ良い経験の場となった。

5 【事業実施上の課題と・今後の連携・協働活動実施に向けて】

協力いただいている方々の後継者をどのように探していくかが、今後の大きな課題である。また、活動内容については、学校と地域の方との意図が共通のものとなって、互いに有意義な活動になるよう、今後も意見を交わしていく必要がある。